

---

# 第15回モニタリング会議 ご説明資料 (2018年4月～6月業績報告)

2018年9月7日



1. 計画と実績の対比	p.3
□ 全社PL	
□ 路線バスPL	
□ 軌道PL	
2. 公共交通利用状況	p.6
□ 路線バス	
□ 軌道	
3. 公共交通取組状況	p.8
4. 公共交通に関する設備投資の実施状況	p.9

## 計画と実績の対比（全社PL）

## 全社の事業再生計画第4期（2018年4月～6月）実績は、以下のとおりです

※事業再生計画の財務数値は、「とさでん交通」と「とさでんトラベル（旅行業）」との合算

	2018年度		計画比 ②÷①	2017/4～6月 前年同期 実績	前年 同期比
	12ヶ月 計画①	2018/4～6月 第1四半期 実績②			
売上高	5,506	1,479	27%	1,457	102%
売上原価	575	233	41%	191	122%
差引収益	4,931	1,246	25%	1,266	98%
人件費	2,544	617	24%	624	99%
厚生費	299	87	29%	86	101%
動力費	524	102	19%	91	112%
修繕費	298	61	20%	61	99%
物件費	108	18	17%	23	79%
経費	1,008	262	26%	256	102%
諸税	105	19	18%	19	100%
減価償却費	512	125	24%	120	105%
営業費計	5,398	1,291	24%	1,280	101%
営業利益	-467	-45	-	-14	-
営業外収益	56	35	62%	37	93%
営業外費用	66	19	29%	21	91%
経常利益	-477	-30	-	2	-
特別利益	532	4	-	50	9%
特別損失	0	0	-	9	-
税引前当期利益	55	-26	-	44	-
法人税等	16	0	-	0	-
当期純利益	39	-26	-	44	-

単位：百万円

## ＜事業再生計画比＞※第1四半期につき進捗率25%と比較

・売上高、差引収益はほぼ計画どおりの進捗。営業費は軽油単価が低位推移したほか修繕費、物件費などが進捗を下回った。営業利益、経常利益ともに赤字であるが、計画を上回る進捗

## ＜2018年4月～6月第1四半期の概況＞

- 【売上高】1,479百万円となり計画に対する進捗率27%
- 【売上原価】旅行事業部門の要因により増加し、進捗率41%
- 【差引収益】ほぼ計画どおりの進捗
- 【営業費】軽油単価の低位推移などで計画に対する進捗率24%
- 【営業利益】△45百万円の赤字であるが計画を上回る進捗
- 【営業外損益】業務委託料等により16百万円のプラス
- 【特別損益】運行委託料により4百万円のプラス
- 【当期純利益】第1四半期経過時点で△26百万円の赤字  
→補助金の大半は年度末に計上

## ＜対前年同期実績比＞

- 売上高は微増。差引収益は売上原価増により微減
- 営業費は、動力費・経費・減価償却費を中心に増加
- 営業損益は前年同期比で赤字拡大
- 経常損益・当期損益は黒字から赤字化

## ＜経費科目説明＞

動力費・・・軌道動力費・バス軽油費等 修繕費・・・軌道、バス事業における各種修繕等 物件費・・・水道光熱費・備用品等  
 経費・・・賃借料・借地料・広告宣伝費・道路使用料等 諸税・・・固定資産税・自動車税等 減価償却費・・・固定資産償却・のれん代償却  
 営業外収益・・・受取配当金・業務委託料等 営業外費用・・・支払利息等 特別利益・・・補助金等 特別損失・・・固定資産圧縮損等

## 計画と実績の対比（路線バスPL）

路線バス事業の2018年4月～6月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

	2018年度 12ヶ月	2018/4～6月 第1四半期	計画比 ②÷①	2017/4～6月 前年同期	前年 同期比
	計画①	実績②		実績	
売上高	1,064	255	24%	266	96%
売上原価			-		-
差引収益	1,064	255	24%	266	96%
人件費	736	190	26%	194	98%
厚生費	81	26	33%	26	101%
動力費	186	39	21%	33	118%
修繕費	120	25	21%	27	92%
物件費	29	4	13%	6	58%
経費	164	40	24%	44	91%
諸税	25	6	24%	6	98%
減価償却費	116	29	25%	25	117%
営業費計	1,456	359	25%	361	99%
専属営業損益	-392	-104	-	-96	-
減価償却前専属営業損益	-276	-75	-	-71	-

単位：百万円

<計画差異要因等>

- ✓ 売上高
  - 2017年4月からのスクール線便数減少による減
  - " 10月からの安芸線移管による減
- ✓ 費用
  - 人件費：人事制度改正による増、時間外手当増
  - 厚生費：人件費増、科目計上ルール変更に伴う増
  - 動力費：軽油単価の計画比低位推移、走行キロの減
  - 経費：自動車保険料の減等
- ✓ 専属営業損益
  - 動力費の低減はあるが、収入の減、人件費の増加などにより、計画を下回る進捗

<前年同期差異要因等>

- ✓ 売上高
  - 安芸線移管による減等
- ✓ 費用
  - 人件費：運転業務数減による時間外手当減
  - 動力費：走行キロ減はあるも、軽油単価の上昇により増
  - 修繕費：車両更新・減車による減
  - 経費：自動車保険料の減など
  - 減価償却費：車両更新による増

<専属営業損益とは>

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

<科目計上ルール変更とは>

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費に計上していたが、実績は、人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

## 計画と実績の対比（軌道PL）

軌道事業の2018年4月～6月実績の専属営業損益は、以下のとおりです

	2018年度	2018/4～6月	計画比 ②÷①	2017/4～6月	
	12ヶ月	第1四半期		前年同期	
	計画①	実績②		実績	前年 同期比
売上高	1,000	267	27%	261	102%
売上原価			-		-
差引収益	1,000	267	27%	261	102%
人件費	562	146	26%	143	102%
厚生費	70	21	29%	20	104%
動力費	77	19	24%	18	103%
修繕費	46	10	22%	8	126%
物件費	22	6	28%	6	109%
経費	60	17	29%	16	105%
諸税	15	2	11%	2	96%
減価償却費	48	11	23%	8	131%
営業費計	902	232	26%	222	105%
<b>専属営業損益</b>	<b>98</b>	<b>35</b>	<b>36%</b>	<b>39</b>	<b>89%</b>
減価償却前専属営業損益	146	46	31%	48	96%

単位：百万円

## ＜計画差異要因等＞

- ✓ 売上高
  - 計画を上回る進捗
- ✓ 費用
  - 人件費：人事制度改正による増、時間外手当増
  - 厚生費：人件費増・科目計上ルール変更に伴う増
  - 経費：ですかシステム更新賃借料、美術館通P&R代替地賃借料等による増
- ✓ 専属営業損益
  - 専属営業損益は35百万円（進捗率36%）の黒字

## ＜前年同期差異要因等＞

- ✓ 売上高
  - 運送収入・運送雑収入の増
- ✓ 費用
  - 人件費：時間外手当の増
  - 厚生費：人件費増による増
  - 修繕費：車両・設備修繕の増
  - 経費：美術館通P&R代替地賃借料等による増
  - 減価償却費：ハートラムⅡ等導入による増

## ＜科目計上ルール変更とは＞

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費に計上していたが、実績は、人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

＜専属営業損益とは＞

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

路線バスの2018年4月～6月利用状況：運送収入・IC利用客数ともに、前年比96%

- 本表は運送収入のみ  
 広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

単位：百万円

	2017/4～6月	2018/4～6月	前年 同期比 ②÷①
	3ヶ月 前年同期①	3ヶ月 実績②	
運送収入	259	249	96%
①定期全体	53	49	92%
②定期外収入	206	200	97%
うち、現金収入	109	106	98%
うち、SF	97	93	96%

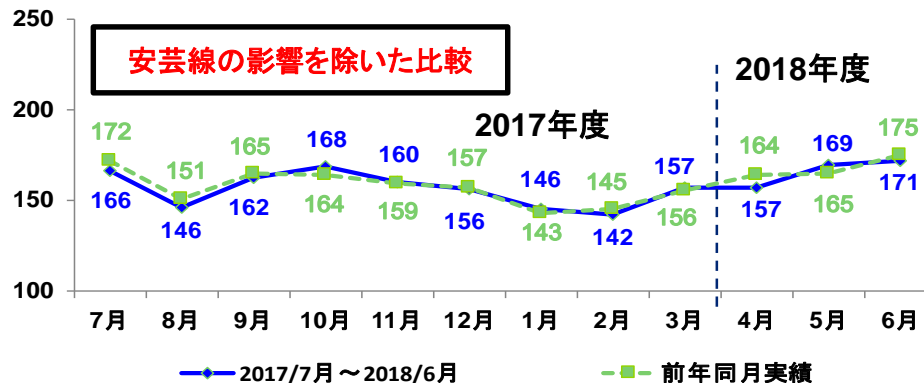
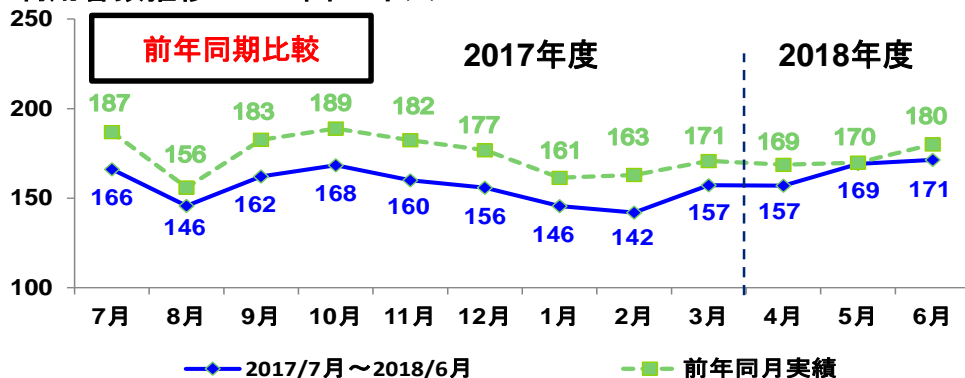
<路線バス収入の増減要因>

- ✓「ダイヤ改正による減キロ」  
 2016年10月1日 △3.0%  
 2017年 4月1日 △1.5% 10月1日 △4.8%
- ✓ 運送収入96%の要因は、2017年10月の安芸線の移管による減少等

【安芸線移管の影響】 単位：百万円

	H30
安芸線（東部交通実績）	▲7

<利用客数推移> 単位：千人



※7月～3月は、スクール線の便数減少の影響も除いた比較

<利用客について>

- ✓ 減少要因は、2017年10月から安芸線の東部交通への移管などにより、年度累計のICカード利用客数は498千人、前年同期は519千人で96%であるが、前年同月分から、安芸線の影響を除いた場合では503千人で99%となる

- ・ 利用客数は、ICカード「ですか」に基づいており、現金などを除く
- ・ IC使用率は約65%（利用客数による）

軌道の2018年4月～6月利用状況：運送収入は前年比102%、IC利用客数は前年比99%

- 本表は運送収入のみ  
 広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

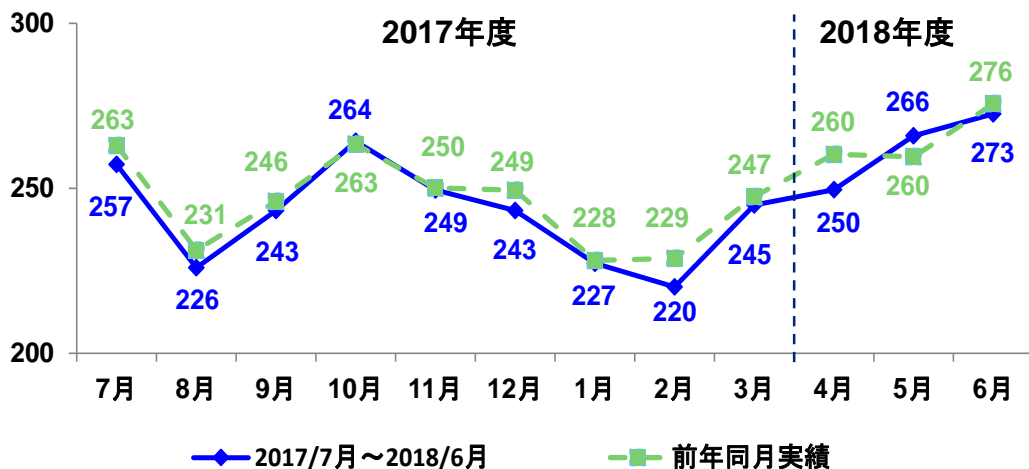
単位：百万円

	2017/4～6月 3ヶ月	2018/4～6月 3ヶ月	前年 同期比 ②÷①
	前年同期①	実績②	
運送収入	235	240	102%
①定期全体	67	67	100%
②定期外収入	169	174	103%
うち、現金収入	110	115	105%
うち、SF	59	58	99%

<軌道収入の増減要因>

- ✓ 運送収入は、前年同期比102%と微増
- ✓ 「雨天日」は、2018年4月～6月で前年比+6日  
 ⇒(雨天日増減:4月△5日、5月+5日、6月+6日)
- ✓ 雨天日が前年比6日多く、志国高知幕末維新博による観光客の入込み、各種利用促進施策の取り組みなどの効果もあり、現金収入を中心に好調に推移した

<利用客数推移> 単位：千人



<利用客について>

- ✓ 対前年同月比、5月は増加、その後は減少
- ✓ 3ヵ月累計のICカード利用客数は788千人、前年同期は795千人で99%
- ✓ 減少要因は、主にナイスエイジカード(65歳以上の方を対象とした定期券)の利用者減(3ヵ月累計で対前年同期比△7千人)

- 利用客数は、ICカード「ですか」に基づいており、現金などを除く
- IC使用率は約50%(利用客数による)

## 2018年度、路線バスと軌道の取組施策は以下のとおりです

内容	路線バス	軌道
<b>■2018年4月1日～6月末まで</b>		
1. 「バスこっち」データを活用した運行時分の見直し 4月	○	-
2. ですかキャンペーン実施 4月～	○	○
3. 日産サテオ高知 交通安全フェア 4月	○	-
4. 車庫見学の受け入れ(児童福祉施設) 4月	-	○
5. ローラー活動(棧橋通三丁目～棧橋通五丁目) 4月	-	○
6. 電車の日イベント 5月	-	○
7. 設置型バスロケ運用開始 5月	○	-
8. 高校県体応援一日乗車券の販売 5月	-	○
9. 公共交通体験プログラム<電車とバスで高知をうろちよろ> 6月	○	○
10. 防災訓練 6月	○	○
11. ローラー活動(神田) 6月	○	-
<b>■2018年7月1日以降</b>		
1. 春・夏・冬休み!バスキッズ定期券販売開始 7月～	○	-
2. バスキッズイベント 7月・8月	○	-
3. ローラー活動(吉野) 7月	○	-
4. 車庫見学の受け入れ(児童福祉施設) 7月	-	○
5. とさっ子タウン2018 イベント出展 8月	-	○
6. 小学生を対象とした出前授業 8月、9月	○	○
7. 公共交通に関する講演活動(高坂学園生涯大学) 9月	○	○
8. 交通安全ひろば 9月	○	○



## 公共交通に関する設備投資の実施状況

2018年4月～6月の公共交通に関する設備投資は、以下表のとおりです

【2018年度 設備投資計画実施内容】

単位：百万円

事業	計画			実施		備考
	投資計画総額	主な投資内容	投資計画額	投資実績額	投資目的・狙い	
路線バス	177	補助車両(5輛)の購入	107	43	安全安心、利便性向上	補助車両(ノンステップバス2輛)購入 年度末までに残り3輛購入予定
		その他	71	15	安全安心、利便性向上	中古車両5輛運用開始 一宮BT建替、領石回し場路盤改良工事他を予定
軌道	157	レール重軌条化工事	50	0	安全安心	大橋通～上町2丁目の一部区間
		分岐器交換	27	0	安全安心	上町5丁目
		き電線改良	12	0	安全安心	後免線、いの線の一部区間
		朝倉待合所 全面改修	12	0	利便性向上	
		その他	56	1	安全安心他	電柱建替更新、4柱式リフトジャッキ、ハートラム貫通幌交換他
合計	334			59		

■一宮BT建替は、棧橋集約費用の一部として2016年度に50百万円を予定し、2017年度へ持ち越したが、土地売却・整備計画遅延により2018年度へ持ち越し

■路線バス低床化率 52.31%(平成30年6月末時点) 【路線バス車両数 130輛(空港連絡除く)、うち低床車両 68輛】

【事業再生計画 設備投資計画進捗状況(累計)】

単位：百万円

		計画0期	計画1期	計画2期	計画3期	計画4期	計画5期	累計	
		15/3半期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期		
路線バス	計画	109	151	111	111	111	111	703	
	実績	146	70	120	138	58		532	75.7%
軌道	計画	51	139	279	197	118	37	821	
	実績	51	125	116	366	1		659	80.3%